令和元年度下半期 モーターボート競走事業業務状況

- I 令和元年度下半期の事業の概況
- Ⅱ 令和元年度下半期の経理の概況
- Ⅲ 附表
- IV 令和2年度予算の概況及び事業の経営方針

目 次

I		令和元年度下半期の事業の概況	
	1	業務量	1
	2	経理の状況	1
Π		令和元年度下半期の経理の概況	
	1	予算執行状況	2
	2	損益計算書	3
	3	貸借対照表	4
Ш		附表	
	1	固定資産明細書	6
IV		令和2年度予算の概況及び事業の経営方針	
	1	予算実施計画	8
	2	事業の経営方針	9

I 令和元年度下半期の事業の概況

1 業務量

モーターボート競走事業の下半期の開催日数は90日で、1日平均舟券売上金額は376,858,547円(前年同期比2.4%増)、1日平均返還金額は3,592,534円(前年同期比11.5%増)となっています。

1日平均有料入場人員は1,755人(前年同期比4.0%減)となっています。

なお、GI開設 65周年記念競走を10月に、PGI第1回ボートレースバトルチャンピオントーナメントを11月に、SG第55回ボートレースクラシック(鳳凰賞競走)を3月に開催しました。また、下半期全体で入場料無料での開催が合計 12日ありました。

場間場外発売は、平和島スタンドで延べ152日、平和島劇場で延べ1,635日、ボートピア河辺で延べ1,106日、ボートピア横浜で延べ1,101日、ミニボートピア黒石で延べ673日、オラレ上越で延べ748日、オラレ刈羽で延べ969日行いました。

新型コロナウイルス感染症に対するボートレース業界全体での感染拡大防止策として、令和2年2月28日以降は無観客レースを開催するとともに、場外発売場等は休館としました。そのため、2月28日以降は、平和島での開催レース17日分(SG鳳凰賞競走6日間を含む)は電話投票のみの発売であり、場間場外発売は行っておりません。

2 経理の状況

収益的収入の執行済額は70,950,084千円(執行率87.3%)、収益的支出の執行済額は68,331,420千円(執行率86.7%)となっています。

資本的収入の執行済額は512,615千円(執行率99.4%)、資本的支出の執行済額は3,397,757千円(執行率99.2%)となっています。

営業業利益は3,665,483千円、経常利益は2,555,928千円、 特別損益はなく、当年度純利益は2,555,928千円となっています。

Ⅱ 令和元年度下半期の経理の概況

1 予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収入

科目	予算現額	執行済額	執行率
科 目	(千円)	(千円)	(%)
1 競走事業収益	81, 302, 557	70, 950, 084	87. 3
1 営業収益	81, 263, 284	70, 906, 220	87. 3
2 営業外収益	39, 273	43, 864	111. 7

支出

科目	予算現額	執行済額	執行率
科 目	(千円)	(千円)	(%)
1 競走事業費用	78, 841, 371	68, 331, 420	86. 7
1 営業費用	78, 832, 843	68, 325, 603	86. 7
2 営業外費用	8, 528	5, 817	68. 2

(2) 資本的収入及び支出

収入

科目	予算現額	執行済額	執行率
	(千円)	(千円)	(%)
1 資本的収入	515, 713	512, 615	99. 4

支出

 科 目	予算現額	執行済額	執行率
77 1	(千円)	(千円)	(%)
1 資本的支出	3, 424, 503	3, 397, 757	99. 2
1 建設改良費	722, 503	695, 757	96. 3
2 投資	2,000	2,000	100.0
3 利益剰余金繰出金	2, 700, 000	2, 700, 000	100.0

※各区分の金額は、千円未満を四捨五入しています

令和元年度 損益計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位 円)

1 営業収益			
(1) 開催収益	64, 047, 332, 300		
(2) 場間場外発売事務受託収益	6, 499, 604, 061		
(3) その他営業収益	351, 317, 888	70, 898, 254, 249	
2 営業費用			
(1) 開催費	61, 823, 687, 001		
(2) 場間場外発売事務受託費	5, 006, 292, 282		
(3) 管理費	219, 796, 992		
(4) 減価償却費	137, 063, 937		
(5) 資産減耗費	45, 930, 888	67, 232, 771, 100	
営業利益			3, 665, 483, 149
3 営業外収益			
(1) 使用料	4, 292		
(2) 受取利息及び配当金	1, 339, 292		
(3) 長期前受金戻入	42, 520, 486	43, 864, 070	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	3, 619, 490		
(2) 雑支出	1, 149, 799, 276	1, 153, 418, 766	△ 1, 109, 554, 696
経常利益			2, 555, 928, 453
当期純利益			2, 555, 928, 453
前年度繰越利益剰余金			986, 141, 512
その他未処分利益剰余金変動額			512, 615, 400
当期未処分利益剰余金			4, 054, 685, 365

令和元年度 貸借対照表

(令和2年3月31日)

(単位 円)

資産の部

1 個	同定資産				
(1)	有形固定資産				
1	土地		3, 242, 246, 476		
E	建物	592, 247, 985			
	減価償却累計額	△ 282, 994, 329	309, 253, 656		
1	、 建物付属設備	270, 230, 461			
	減価償却累計額	\triangle 7, 422, 985	262, 807, 476		
Ξ	井 構築物	24, 851, 447			
	減価償却累計額	\triangle 4, 619, 345	20, 232, 102		
才	ベ 機械及び装置	223, 941, 211			
	減価償却累計額	△ 31,611,062	192, 330, 149		
~	、 工具器具及び備品	747, 517, 160			
	減価償却累計額	△ 397, 539, 628	349, 977, 532		
ŀ	、リース資産	839, 715, 190			
	減価償却累計額	△ 188, 122, 816	651, 592, 374		
ヲ	建設仮勘定		15, 717, 000		
	有形固定資産合計			5, 044, 156, 765	
(2)	無形固定資産				
1	' リース資産		0		
	無形固定資産合計			0	
(3)	投資その他の資産				
1	· 基金		2, 467, 357, 200		
	投資その他の資産合計			2, 467, 357, 200	
固	定資産合計				7, 511, 513, 965
2 況	范動資産				
(1)	現金預金			3, 163, 102, 287	
(2)	開催資金			453, 611, 000	
(3)	未収金			56, 377, 507	
	繰出金			2,700,000,000	
	流動資産合計				6, 373, 090, 794
	資産合計				13, 884, 604, 759

負債の部

3 固定負債		
(1) リース債務	201, 409, 200	
固定負債合計		201, 409, 200
4 流動負債		
(1) リース債務	148, 672, 800	
(2) 未払金	2, 089, 990, 440	
(3) 前受金	9, 426, 800	
(4) 引当金	9, 442, 000	
(5) 預り金	85, 942, 679	
流動負債合計		2, 343, 474, 719
5 繰延収益		
(1) 長期前受金	517, 350, 451	
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 164, 994, 060	
繰延収益合計 2. (本 A 表)		352, 356, 391
負債合計		2, 897, 240, 310
資本の部		
6 資本金		4, 467, 321, 884
7 剩余金		
(1) 資本剰余金	0	
(2) 利益剰余金		
イ 利益積立金 1,504,000,000		
口 建設改良積立金 961,357,200		
ハ 当期未処分利益剰余金 4,054,685,365		
利益剰余金合計	6, 520, 042, 565	
剰余金合計		6, 520, 042, 565
資本合計		10, 987, 364, 449
負債資本合計		13, 884, 604, 759

Ⅲ 附表

1 固定資產明細書

(1) 有形固定資産

(単位:円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土地	3, 242, 246, 476	0	0	3, 242, 246, 476
建物	367, 105, 023	225, 142, 962	0	592, 247, 985
建物附属設備	61, 822, 810	225, 185, 811	16, 778, 160	270, 230, 461
構築物	27, 744, 630	3, 465, 596	6, 358, 779	24, 851, 447
機械及び装置	88, 054, 749	140, 802, 982	4, 916, 520	223, 941, 211
工具器具備品	798, 604, 507	57, 741, 360	108, 828, 707	747, 517, 160
リース資産	647, 915, 190	191, 800, 000	0	839, 715, 190
建設仮勘定	29, 655, 000	0	13, 938, 000	15, 717, 000
計	5, 263, 148, 385	844, 138, 711	150, 820, 166	5, 956, 466, 930

次帝の括叛	減価償却累計額			年度末償却
資産の種類	当年度増加額	当年度減少額	累計	未済高
土地	0	0	0	3, 242, 246, 476
建物	2, 436, 602	0	282, 994, 329	309, 253, 656
建物附属設備	1, 731, 197	0	7, 422, 985	262, 807, 476
構築物	923, 869	1, 054, 732	4, 619, 345	20, 232, 102
機械及び装置	9, 548, 864	2, 945, 131	31, 611, 062	192, 330, 149
工具器具備品	64, 525, 286	86, 951, 415	397, 539, 628	349, 977, 532
リース資産	57, 898, 116	0	188, 122, 816	651, 592, 374
建設仮勘定	0	0	0	15, 717, 000
計	137, 063, 934	90, 951, 278	912, 310, 165	5, 044, 156, 765

(2) 無形固定資産

(単位:円)

資産の種類	年度当初	当年度	当年度	当年度	年度末
貝座が堆板	現在高	増加額	減少額	減価償却額	現在高
リース資産	3	0	0	3	0
計	3	0	0	3	0

(3) 投資 (単位:円)

資産の種類	年度当初	少左 在 拍 加 類	业年 由油小類	年度末
頁座の性短	現在高	当年度増加額	当年度減少額	現在高
基金	2, 977, 972, 600	2,000,000	512, 615, 400	2, 467, 357, 200
計	2, 977, 972, 600	2,000,000	512, 615, 400	2, 467, 357, 200

IV 令和2年度予算の概況及び事業の経営方針

1 予算実施計画

(1) 収益的収入及び支出

収入

	款項目	予定額 (千円)
1 競走事業収	79, 763, 329	
1 営業収益		79, 724, 267
	1 開催収益	72, 250, 680
	2 場間場外発売事務受託収益	7, 014, 340
	3 その他営業収益	459, 247
2 営業外収益		39, 062
	1 使用料	4
	2 受取利息及び配当金	641
	3 長期前受金戻入	38, 417

支出

	款 項 目	予定額(千円)
1 競走事業費用		77, 848, 338
1 営業費用		77, 837, 838
	1 開催費	71, 320, 687
	2 場間場外発売事務受託費	5, 947, 833
	3 管理費(総係費)	269, 942
	4 減価償却費	193, 993
	5 資産減耗費	105, 383
2 営業外費用		10, 500
	1 支払利息	5, 500
	2 消費税	5,000

(2) 資本的収入及び支出

収入

款項目	予定額(千円)
1 資本的収入	268, 072
1 基金繰入金	268, 072
1 基金繰入金	268, 072

支出

		款 項 目	予定額 (千円)
1 資本的支出			2, 296, 679
1 建設改良費			494, 679
		1 施設整備費	268, 072
		2 資産購入費	14, 488
		3 リース債務支払費	212, 119
2 投資		2,000	
		1 基金造成費	2,000
3 利益剰余金繰出金		1, 800, 000	
		1 他会計繰出金	1, 800, 000

2 事業の経営方針

平和島本場を活性化するとともに電話投票や場間場外発売による平和島レース全体の売上げ向上を図っていく。また、平和島本場や平和島劇場、ボートピアなどを活用した他場レースの発売も併せて推進することにより、事業の至上命題である持続的な収益を確保し、市会計への繰出しができるよう、次の重点課題に取り組む。

なお、基金への積立てが平成27年度で目標額に到達したことから、当面 は市会計への繰出しを優先していく。

- (1) 高グレードレースの誘致
- (2) 魅力あるレースの提供
- (3) 本場の活性化
- (4) 電話投票の売上げ向上
- (5) 場間場外発売の売上げ向上
- (6) ボートピア等の安定的な運営及び新規開設の検討